

---

# 作家志望の俺とサッカー部で体脂肪率6%のアイツ

美希マコト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

作家志望の俺とサッカー部で体脂肪率6%のアイツ

### 【コード】

N1800T

### 【作者名】

美希マコト

### 【あらすじ】

作家志望の俺とサッカー部で体脂肪率6%のアイツとの休み時間の1コマです。

本編に入る前に、1本CMをご覧ください。

タイトル『武者』

フレイステーション

斬れ！斬れ！叩き斬れ！

己の刃と、その鎧で、相手を打ち砕け！！

簡単操作で爽快アクション！！

本格殺陣アクションゲーム『武者』！！！！

「武者くしゃしてやった、後悔はしていない」

5月11日発売！！！！！！！！！！

この後本編はっじまるよ〜

「……………」

「……………」

その瞬間、張りつめていた空気が変わった

「 3 7 8 2 0 1 7 3 2 5 1 8 1 0 1 8 3 6 1 5 1 3 9 3 0 1 7 3 6  
1 9 3 6 1 3 8 1 3 9 」

炎の渦が円を描きながら、魔物を囲む。  
動けば、炎の刃に身を焼かれる。

「 6  
」

魔物の足元に計算されたかのように魔法陣が浮かびあがる。

もう逃げ場はない。

「 5  
」

それは 人間の手によって作られた魔法。

「 4  
」

それは 誰でも使える魔法の力。

「 3  
」

それは 悪魔の力を宿した力。

「 2  
」

それは 心を壊す破壊の力。

「 1  
」

それは 人類史最強の兵器。

「0」

パチンと指を鳴らすと同時に上がる強烈な火柱。  
確認などする必要もなく、その場を後にした。

「……………」

「その場を後にした……………じゃねーから」

「な！？ 今回は自信作なんだが！」

「いや、ねーよ。なんかイチイチ古いんだよ」

「ちよつと待つてくれよ！俺が3年もの期間温めていた設定である、  
演算魔法（仮1）・計数魔法（仮2）・マジックナンバー（仮3）  
を否定するというのかい！？」

4

「だせー、超だせー。てか、カウントダウンなのか指パチンなの  
かどつちかにしろよ！！」

「だったらお前が考えるよ！！」

「うるせーなあ、分かった見とけよ……………」

「……………」

「045」

「この魔法は横浜から生まれた港の力を最大限に

「最初からヤル気ないじゃないか！！」

「うるせーよ、俺は作家とかなりたくねーからいいんだよ」

「だったら言うな!」

こういったやり取りは、常日頃から学校で行われている。

作家志望の俺とサッカー部で体脂肪率6%のコイツとの休み時間の一コマであった。

〈The 2nd Day〉

「……………」

「この身が滅びようとも構わない!!古より伝わりし、禁じられた魔法を今 解き放つ!!」

「止めて!!危険だわ!!!!」

触手に囚われ、宙づりになった姫が南瓜パンツ丸出しで叫ぶ。

「炎の聖霊よ 小さき人に一度だけ力を与えよ!!」

周囲の木々がざわめき始め、吹いていた風がピタリと止んだ。鳥の群れが騒ぎたて、川の流れが逆流する。

唱える呪文と共に体が光に包まれていく

「なにッ!!人間風情が炎の精霊を召喚する……だと!？」

暗黒大魔王が驚き、防御に備えるが もう遅い!!

「闇を葬れ 禁断の最終奥義!!ファイアあああああ!!!!」

「!!」

「……………」

「禁断の最終奥義ファイアーでもねーから」  
「んだと!?!」

「技名が前ふりに負けてるじゃねーか、壮大に負けてるじゃねーか、いつの時代の初級魔法だよ」

「そう易々と魔法が使えない世界なんだよ、しょうがねーだろ」

「それとなんで、ちよいちよい笑い要素入れるんだよ、真面目なのかギャグなのかどっちかにしろよ」

「どこがだよ!?!今回も超真面目だろ!?!シリアス全開だろ!?!」

「宙づりの姫の件は完全なギャグだろ!? ついでに暗黒大魔王もギャグだろ!?!」

「姫のセリフは、この魔法は危険だという事を印象付ける為に必要なんだよ、南瓜パンツの下りは今まさに宙づりです!?!感を出す為なんだよ!?!」 あと暗黒大魔王はシンプルイズベスト理論の採用だ」

「ねーよ」

「だったらお前が考える!?!」

「しょうがねーなあ……………見とけよ」

「……………」

「やっ…やめて、そんなところ、だめ…あっ」

触手に囚われた姫の

「なんの話になったんだこれは!!??」

「うるせーよ、俺は作家とかどうでもいいんだよ」

「だったら言うな!!」

10年後、小説家志望だった俺は無職で、サッカー部で体脂肪率6%のアイツは、その突拍子もない発想力が受けたようでライトノベル作家となった。

アイツの作品は確かに面白い、中でもデビュー作『かぼちゃパンプスの演算魔法』に関しては、夢半ばで敗れた俺のアイディアを汲み取ってくれていて、俺も少し嬉しかった。

おわり。



(後書き)

戦闘描写が豊富に書ければ、もっとグダグダ感が出て楽しく出来たのかもしれないんですが……なかなか難しいものですね、魔法とか魔法とか魔法とかの描写って。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1800t/>

---

作家志望の俺とサッカー部で体脂肪率6%のアイツ

2011年10月8日23時33分発行